

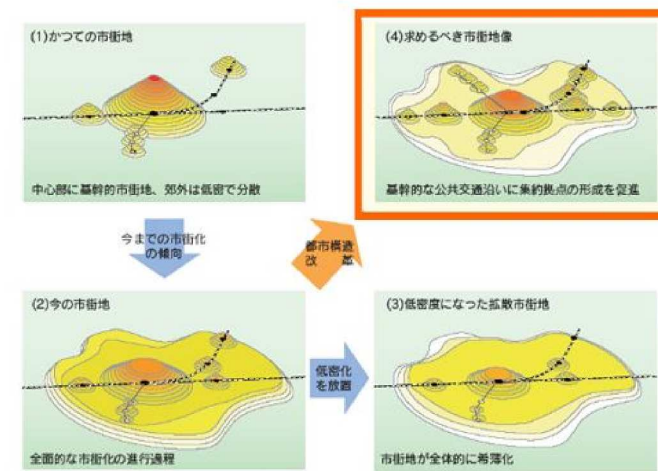
1. なぜ、穂積駅周辺を拠点とするのか

(1) 日本における近年のまちづくりの動向

・人口減少や中心市街地の衰退を背景に、集約型都市構造への転換が重要とされています。

- 人口減少・少子、高齢社会の到来
- 自動車利用等による環境負荷の高まり
- 広域的な都市機能拡散による中心市街地の衰退
- 市街地の拡散による都市財政の圧迫

地域公共交通と連携した「コンパクト+ネットワーク」によるまちづくりの推進



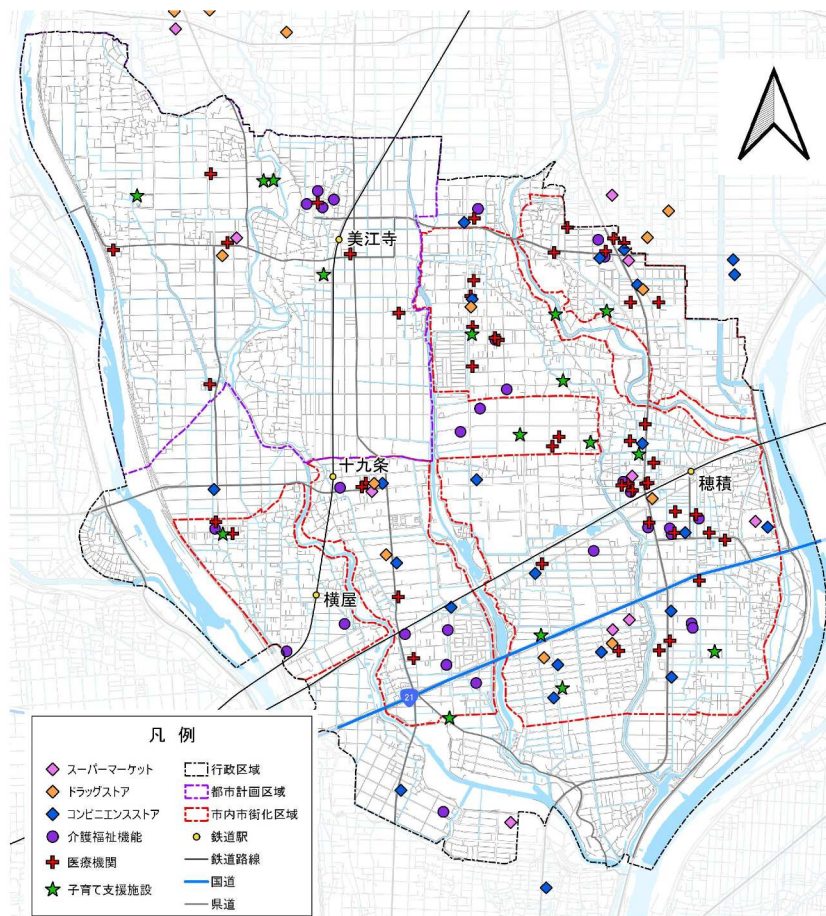
<集約型都市構造の考え方(国交省HP)>

(2) 瑞穂市の概況

①施設分布状況

県道沿いなどを中心に市全域に点在
穂積駅周辺から東側には立地していない

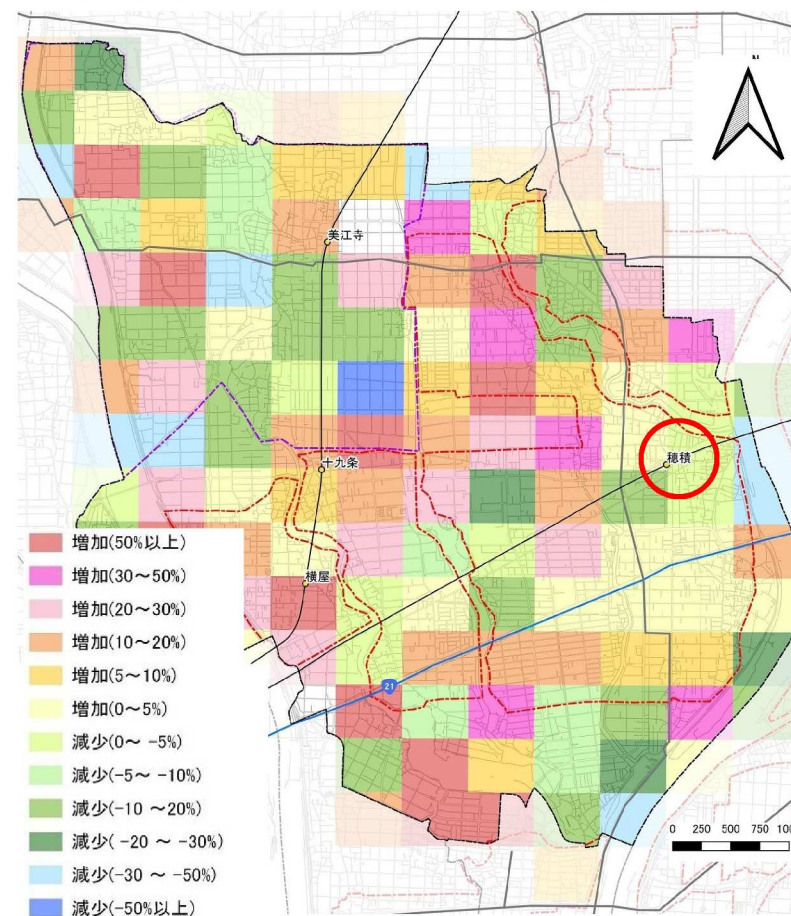
【施設分布図】



②人口

市内人口は2030年をピークに減少傾向
穂積駅周辺は減少傾向・外延部が増加傾向

【人口増減率(H17年→H27年 国勢調査より)】

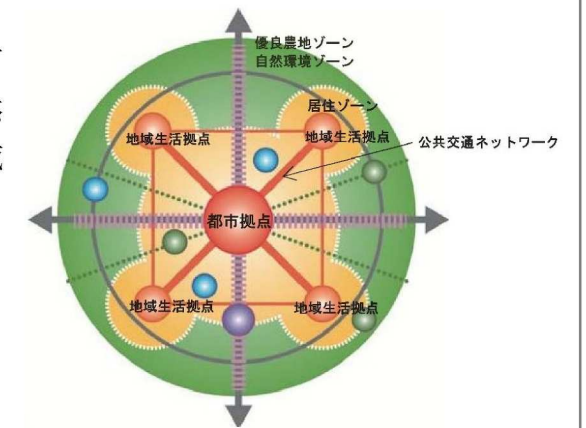


市街地の拡大と穂積駅前の空洞化の傾向

(3) 瑞穂市における将来都市構造の考え方

①第2次総合計画 後期基本計画 [令和3年3月]

『穂積駅周辺の「都市拠点」を核に市内各地の「地域生活拠点」を中核とした、コンパクトな居住ゾーン及び公共交通ネットワークの形成を図ること』に重きを置きながら、市全体として、都市の自然と調和、市の強みや地域の魅力の活用等を図る形で、多様な拠点、軸、ゾーンをバランスよく適切に配置。

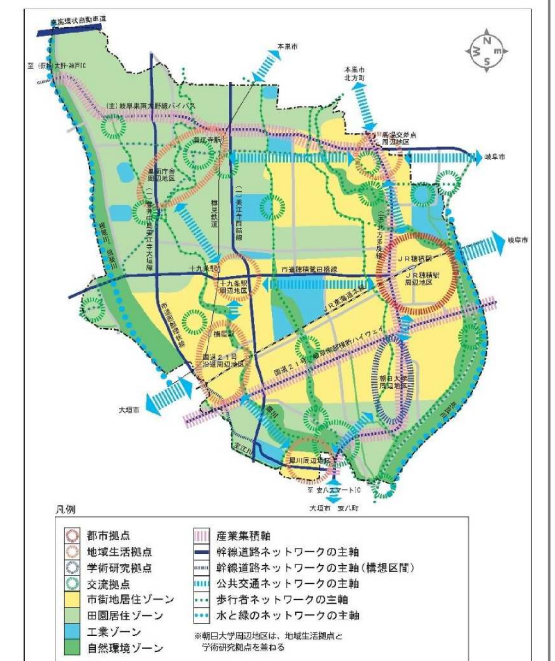


②都市計画マスタープラン [平成30年3月]

■JR 穂積駅周辺をはじめ、過度に自動車に頼らず暮らせる、利便性の高い都市づくりを進める。

《都市空間づくりとしての基本方向》

- JR 穂積駅周辺及び市内各所において、生活拠点（公共交通機能、商業機能、医療機能、福祉機能、金融機能、行政機能等がコンパクトにまとまった場所）を形成
- JR 穂積駅を中心とした生活拠点間及び都市間の幹線的な公共交通ネットワークを形成
- 各生活拠点と周辺の住宅地、集落を結ぶ歩行者ネットワーク（幹線道路の歩道や自転車道等）の形成を通じ、身近な日常生活圏を構築



穂積駅周辺を中心としたまちづくりの推進が必要

(4) 拠点化構想

- ・ J R穂積駅を圏域 15 万人（瑞穂市、本巢市、岐阜市（一部）、大垣市墨俣町、本巣郡北方町、揖斐郡大野町、安八郡安八町の区域をいう。）の拠点と位置付け、駅周辺の活性化・生活利便の向上・交通安全の確保などを目的に、平成 28 年度に地域住民と協働で「瑞穂市 J R穂積駅圏域拠点化構想」を策定。

①まちづくりのビジョン（将来像）

【ビジョン（将来像）】

みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ

～圏域のプラットフォームとして ヒト・モノ・コトをつなぐ・つむぐ・むすぶ～

いつの時代も人々の心を「つなぎ」、「つむぎ」、「むすぶ」ためには何ができるか。道路や公共交通を誰もが使いやすいように「つなぎ」、新たなお店や施設が増えることで交流が生まれ、人と人との新たな関係を「つむぎ」、人や情報が集まり、魅力的な体験を行うことができ、様々な人や情報等の集散機能が高い「むすぶ」空間となるよう目指してまいります。



②ビジョン（将来像）を踏まえ、取り組むべきテーマ

テーマ1 帰ってこることが楽しくなる駅周辺

～いってらっしゃい、おかえりなさいと言ってくれているような駅周辺～

テーマ2 第2の故郷として親しみと愛着がわく駅周辺

～瑞穂に住む人が永住したくなる、一度離れても戻ってきたくなる駅周辺～

テーマ3 人が集まり、誇りに思える駅周辺

～誇りや愛着を持って自然に集まる駅周辺～

③まちづくりの方針（まちづくり計画）

- ・ J R穂積駅及び J R穂積駅周辺の環境の総合的な利活用及び整備改善等のあり方について、拠点化構想の詳細化・具体化を図り「地域の将来の青写真」をはっきりとさせるため「まちづくり計画」を作成し、駅南北のまちづくり方針を設定。

■穂積駅北側

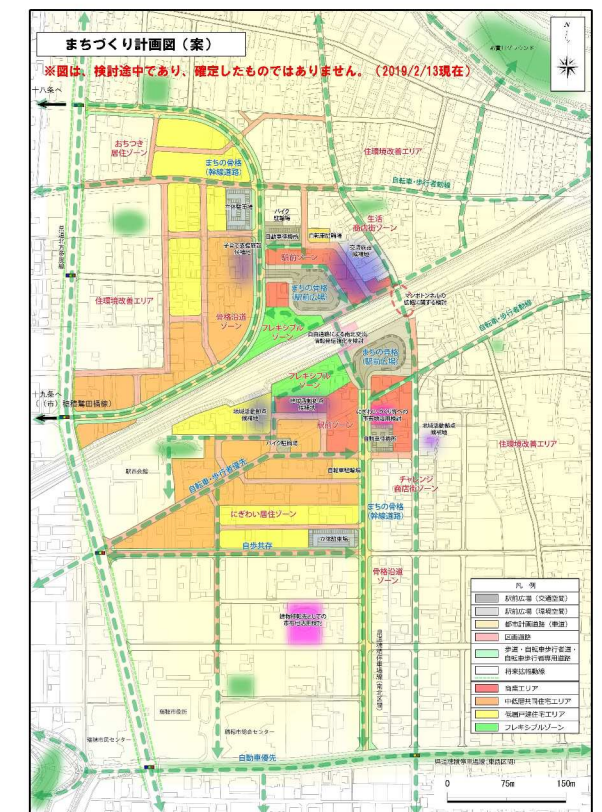
現状：高齢者が多い地域だが、人口が微増しており、**新たな居住者が比較的多い地域**だと考えられる。

- 【方針】
- お年寄りから新たに住む子育て世代までが、**落ち着いた、豊かな生活を送る環境**を目指す。
 - 豊かな生活の象徴となるような、**生活に根付いた商業機能の充実や、家族で利用できるような広場空間の整備**が必要。

■穂積駅南側

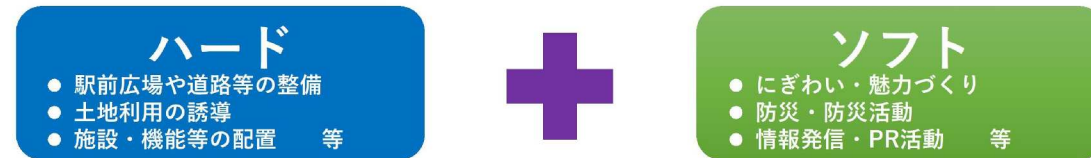
現状：高齢者が多く人口も減少傾向だが、朝日大学や大垣桜高校にアクセスするバスが南口から発着し、**大学生や高校生等の若者にとって訪れる機会が多い、馴染みのある地域**だと考えられる。

- 【方針】
- 大学生や単身の若者が多く住み、**活力や交流があふれる環境**を目指す。
 - 新たな需要を生み出すために**気軽にチャレンジできる商業空間や交流を活性化させる広場空間の整備**が必要。



2. どうやって拠点をつくるのか

(1) ソフト施策とハード施策の両輪によるまちづくり



【行政と地域の役割】

行政にできること	ハードや制度・仕組みをすること
地域にできること	ハードや制度・仕組みを活用すること

(2) ハード施策の検討

① JR穂積駅周辺整備研究会からの提言

- ・駅周辺のまちづくりを進めるために、まちづくりに関する有識者と関係行政機関の職員からなる「JR穂積駅周辺整備研究会」にて整備に関する手法や内容等について議論を行い、令和元年7月に「基盤整備に関する提言」がなされました。



土地区画整理事業による面的な整備が効果的かつ効率的

(3) ソフト施策の実施状況

- ・地域のみなさまと協働で各種のソフト施策を実施しています。

- 市民等協働活性化** ワイワイ会議の継続開催、まちづくり組織設立に向けた検討教育機関や商工会との連携
- 生活環境改善** 一方通行化の社会実験、送迎車のマナー向上等に向けた啓発活動の実施 など
- にぎやかし** ほづみ夜市・弁当市の開催、空きスペース・空き店舗活用事業の実施、穂積駅周辺魅力発信マップの作成・更新
- 拠点化構想 PR** ワイワイフライヤー等の発行、Facebook での情報発信 など



▲ ワイワイ会議の様子



▲ 駅南金曜市の様子



▲ 弁当市の様子

令和3年4月1日

「JR穂積駅周辺まちづくり協議会 **ExSite**」を設立

(4) 拠点化を実現するための整備計画策定に向けた取り組み

- ・地域と一体となって質の高い整備計画を策定していくために、駅周辺地域の区長や自治会長などが参加する「JR穂積駅周辺整備検討委員会」を設立し、下記項目について意見交換を行っています。
 - 土地区画整理事業の実施に向けた地域の意向の集約調整について
 - 土地区画整理事業の実施に向けた計画の検討について
 - まちづくり計画の実施に向けた事業の進め方及び検討について

【意見交換の視点】

- ① どんな工夫があればみんなが安心・快適に使えるまちになるのか
- ② どんな機能があればみんなが集うまちになるのか
- ③ どのような方法・手順で整備を進めていくのか
- ④ 住民のみなさまの意見をどうやって反映するか
- ⑤ 今からでもすぐにできる取り組みはないか
- ⑥ まちを維持していく事の必要性について



3. 今までの検討経緯

news letter ①

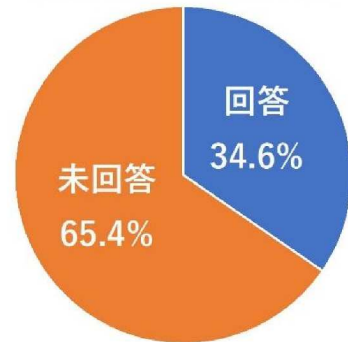
まちづくり意向調査アンケート結果

【アンケートの状況】令和2年1月末から3月末にかけて、駅周辺の土地・建物所有者のうち659件の方に、駅周辺の課題や整備手法への認知度・意向確認などのアンケートを行いました。全体の34.6%にあたる228件の方からご回答を頂きました。アクセス道路の整備、まちの防災性・防火性の向上といった生活環境の改善を望む声が多く寄せられました。市としましては、駅前広場の整備などによる交通環境の改善とあわせ、駅周辺地域の生活環境の改善に向けた取り組みを進めていきます。

【今後に向けて】今回のアンケートでは、すべての方にご回答を頂けておりませんが、ご回答を頂いたなかでは、事業を進めていく事に賛成のご意向が多いことが分かりました。今後もより多くの方々に駅周辺のまちづくりに興味をお持ち頂き、またご賛同頂けるよう努めていきます。

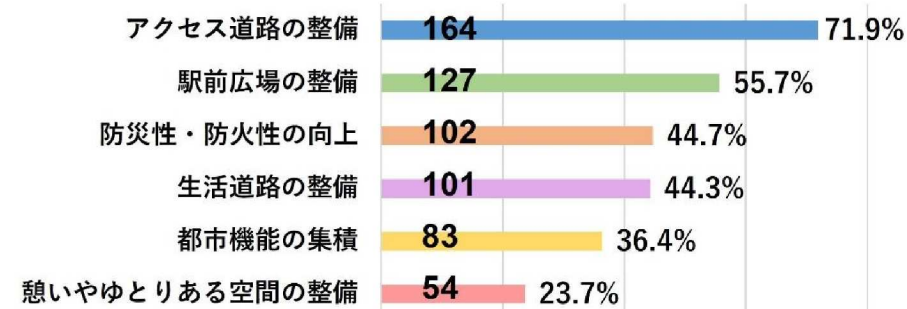
①回答状況

対象者 659件 回答者 228件



②回答内容

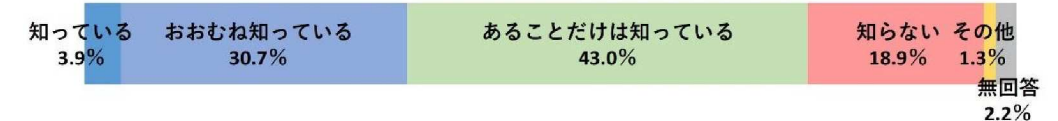
・重点的に改善が必要なところ (N=228)



・土地区画整理事業による駅周辺整備 (N=228)



・土地区画整理事業の認知度 (N=228)



駅周辺整備の進め方

整備を進めるにあたり、平成30年から令和元年まで活動を行った「JR穂積駅周辺整備研究会」からの提言などをもとに、市がまちづくりのベース(案)を作成します。このベース(案)に、まちづくり意向調査の結果や地域の皆様のご意見を踏まえ、地域に根差した計画を協働でつくっていきます。

J R穂積駅周辺整備研究会

行政機関やまちづくり分野の有識者からなる組織です。駅周辺に必要とされる整備の内容やそれによる効果などを検討し、事業化に向けた提言がまとめられました。



提言書の駅周辺整備計画図

J R穂積駅周辺整備検討委員会

駅周辺地域の区長や自治会長などが参加するまちづくり検討組織です。駅周辺のまちづくりの実現に向けた取り組みの内容やまちづくりのベース(案)などをお伝えし、ご意見をフィードバックすることで質の高い計画を策定していく場としています。



第2回 J R穂積駅周辺整備検討委員会 (令和2年6月)

【委員】《区》西只越区、東只越区、駅北区、井場区、花塚区
 駅前区、別府北区、別府南区
 《自治会》桜町一丁目、桜町二丁目、西只越、東只越、別府公社住宅
 駅前、本町、別府西町、別府北町、別府中町、別府南町、多利町

これまでに話し合った内容
 ・土地区画整理事業とは
 ・まちづくり意向調査アンケートについて
 ・一方通行化実証実験結果について
 ・まちづくり意向調査の結果について など
 今後話し合いを予定している内容
 ・都市計画道路(案)について
 ・駅前広場・フレキシブルゾーンについて
 ・区画道路の設定について
 ・整備する範囲について など

令和4年度を目標に、市の都市計画決定に向けた作業を進めます。

工事の実施
 土地区画整理事業の実施

都市計画決定

